

## 豊橋市内で 現場見学会

アイスピグ  
中部地域協

アイスピグ中部地域協会(相澤宏暢会長)は8月24日、愛知県豊橋市内で現場見学会を開催した。発注者の豊橋市上下水道局の他、周辺の自治体職員約50人が参加した。冒頭、相澤会長は「アイスピグは、人体に無害の材料を使用し、管内で詰まらない、堆積物をシ

ヤーベットと一緒に排出するので堆積物が残らない、曲管、片落ち管にも適応可能」と特長について説明した。

洗浄対象の管路は、下水圧送管で、管径100



mmの塩ビ管(VP)延長約400m。洗浄作業中も活発な質疑応答が交わされ、参加者の関心の高さがうかがえた。対象現場となった工事の請負者は、東亜クラウト工業豊橋営業所。写真。

アイスピグ洗浄工法は、管内に特殊アイスシヤーベット(水氷比2:8、15度)を注入し、圧密をかけてアイスピグを形成し流水で押し流すことにより、管内を洗浄する。